

入選

ばんそうこう

福岡県 西南学院小学校 1年 佐藤 仁奏

「これ、どうしたと。」

お風呂で、あしにはっていたばんそうこうをみて、おかあさんがいいました。

わたしは、でんしゃつうがくをしています。いきのでんしゃつうがくでのことです。みぎあしのふくらはぎのきずがやっとなおりかけて、かさぶたができていたのに、てにもっていたバッグがあたり、かゆくなって、かいてしまいました。そうしたら、かさぶたがとれて、ちがくつしたまで、だらりとながれました。わたしは、大あわてでポケットからティッシュをとりだしました。ふきとりましたがまだまだ、ちは、だらだらとでてきました。わたしは、あいているせきにすわり、きれいにちをふきとろうとしましたが、まだちはとまりません。

そのときです。となりにすわっていためがねをかけたちょっとこわそうなおじさんが、

「はい。」と、はこからばんそうこうを二まいだしてくれました。

わたしは、ちょっとかおをみて、

「ありがとうございます。」

と、いって一まいはりました。やっとちは、とまりました。うれしくなりました。そして、ほっとしました。

ちらっとおじさんを見ました。おじさんは、ふつうのかおですわっていました。こわいおじさんとおもったら、やさしいおじさんでした。わたしもおじさんもてんじんえきでおりました。

それから、もう一まいは、ていきけんいれにいれました。わたしも、おじさんのようにいつかこまっているひとをみつけたら、そうつとばんそうこうをだしたいなあとおもいました。